

2024年(令和6年)10月29日(火曜日)



西菱電機は奈良県御所市(東川裕市長)から「総合防災ソリューション」を受注した。防災行政無線システム、防災情報システム・防災アプリなどを新たに整備し、多様化・激甚化する災害の初動対応から市民への情報配信・伝達までをトータルにサポートする。

受注したソリューションは三つ。

防災行政無線システム(同報系)は大地震・大火災・風水害などが発生した場合に、災害情報や避難情報などを早期に多人数へ迅速かつ的確に

西菱電機

総合防災ソリューション

伝達する。防災行政無線回線に加え、広域で利用可能な携帯電話回線を併せ持ち、回線の二重化で通信の途絶リスクを回避する「ハイブリッド型屋外拡声子局」を市内全域に配備。搭載された蓄電池で72時間以上稼働するほか、発電機などの外部電源による運用にも対応する。

防災情報システムはリアルタイムの気象・観測情報を収集・表示するほか、市民からの被害報告や現場の被災状況など最新の情報を視覚的に確認でき、災害対応を支援するシステム。気象・観測情報

奈良県御所市から受注

は、気象庁防災情報・国土交通省ライブカメラ映像に加え、独自に整備する雨量・気温・水位などの観測データや監視カメラの画像を取り込む。

防災アプリは市民がスマートフォンなどにインストールすることで、市からのさまざまな情報を受け取ることができ、御所市専用の防災アプリ。防災行政無線システムの放送内容をプッシュ通知やテキスト表示、放送音声の再生にも対応するほか、気象情報などの配信にも対応する。

同社は、2026年3月の完工に向け、本工事を進める。